

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年3月18日
函館市立巴中学校

1 本年度の重点教育目標

『活気に溢れ、生徒が育つ』学校を目指して

2 本年度の取組の重点

①確かな学力の向上 ②豊かな人間性の伸長 ③教職員の業務改善の一層の推進 ④地域に根ざした学びの創造

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
①確かな学力の向上	自ら学ぼうとする意欲を高める指導の工夫・改善	b	教職員の資質・能力向上のための研修の推進や学び直しの機会の保障、ICTの活用を推進する。	A	A	・ICTは学力の低下を理由に、使用を控える国も出てきているとのこと。使い方を熟考すべきだと思います。
	さまざまな生徒の教育的ニーズへの対応	b	校内サポートルームの活用や教室で困り感をかかえている生徒への個別対応の充実を図る。	A	B	
②豊かな人間性の伸長	校内縦割り活動を活用した温かな人間関係と集団の中で一人一人が輝ける場の設定	a		A	A	・生徒の自治能力を高める指導に努めていただきたいと思います。
③教職員の業務改善の一層の推進	勤務時間、部活動を含めた業務の効率化と合理化	b	ICTの活用や生成AIの適切な利用、さらなる業務の精選や生徒の活動の最適化を推進する。	A	B	・保護者によっては対応に不満のある意見がみられます、受け取り方にいろいろあると思います。
④地域に根ざした学びの創造	地域人材を活用し、学校運営協議会と協力しながら「地域とともにある学校」をつくる。	a		A	A	・職業体験は良い結果に終わったと思います。今後も可能な限り協力したいと思います。
	学校の「見える化」の推進	b	HPや学校から発信されるメールを活用した積極的な情報発信により、学校の見える化を推進する。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。